
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第47週
(11月16日～11月22日)

* 2009年11月25日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成21(2009)年11月26日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年47週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	63	46	70	49	3629	235	23135
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					3	1	16
	細菌性赤痢	1		4		43		166
	腸管出血性大腸菌感染症	7	2	6	3	298	26	3618
	腸チフス					10	1	27
	パラチフス					11	1	24
四類	E型肝炎					6	1	47
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1	1	1	22	2	107
	エキノコックス症					1		21
	黄熱							
	オウム病					1		20
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病			1		4	23	236
	デング熱	4	1			31	1	84
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						3	117
	日本脳炎							2
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア					25	1	52
	野兔病							
ライム病					1		7	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2		2	1	48	9	604	
レプトスピラ症							12	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	4	1	1	125	6	684
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1			1	32	2	195
	急性脳炎 *2	1	1	1	3	39	11	351
	クリプトスポリジウム症			1		3		16
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2	1	2	17	3	126
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9		90
	後天性免疫不全症候群	5	8	7	14	428	17	1263
	ジアルジア症	1			1	22	1	68
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	4	4	2	2	175	3	610
	破傷風			1		7		106
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				13		95
	風しん					18		140
麻しん		4	2	2	110	4	708	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	—	—	—	—	1187	—	5038
2009/11/26計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。

2009年7月24日から8月24日の期間は集団発生事例に関連した届出。

※3全国集計は7月24日6:00現在の国内発生の累計値(検査対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 49件 肺結核33件、その他の結核10件、肺結核及びその他の結核2件、無症状病原体保有者3件、疑似症患者1件で、推定感染地は国内47件、国内及び国外1件、韓国1件、年齢は10歳代1件、20歳代6件、30歳代5件、40歳代8件、50歳代5件、60歳代6件、70歳代6件、80歳代9件、90歳代3件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 3件 患者2件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)1件、O157(VT2)2件で、年齢は10歳代1件、20歳代1件、30歳代1件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地はオーストラリアで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
レジオネラ症 1件 肺炎型で、年齢は60歳代。推定感染地は佐賀県又は静岡県で、推定感染経路は水系感染(風呂)である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 腸管アメーバ症で、推定感染地は国内、感染経路はその他(不明)であった。
ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は国内、針治療による感染が疑われている。
急性脳炎 3件 病原体は全て新型インフルエンザウイルスで、年齢は10歳未満3件(うち5歳未満1件)であった。
クロイツフェルト・ヤコブ病 2件 古典型CJD1件、家族性CJD1件で、年齢はどちらも60歳代であった。
後天性免疫不全症候群 14件 無症候キャリア8件、AIDS4件、その他2件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代3件、30歳代6件、40歳代1件、AIDS患者の年齢は20歳代1件、40歳代2件、50歳代1件である。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間10件、異性間4件)であった。
ジアルジア症 1件 推定感染地は国内で、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
梅毒 2件 どちらも早期顕症梅毒Ⅱ期で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間1件、異性間1件)であった。
麻しん 2件 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は20歳代1件、40歳代1件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明1件であった。

※第44週該当分として、五類 バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件(VanB)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年47週

定点種別	対象疾患	2009年					報告医療機関数	定点医療機関数
		44週	45週	46週	47週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	14	16	15	35	0.24	145	150
	咽頭結膜熱	5	10	14	18	0.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	132	107	138	105	0.72		
	感染性胃腸炎	324	309	431	474	3.27		
	水痘	74	78	93	107	0.74		
	手足口病	50	57	42	45	0.31		
	伝染性紅斑	12	13	8	13	0.09		
	突発性発しん	71	67	74	75	0.52		
	百日咳	6	2	5	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	21	17	15	11	0.08		
	流行性耳下腺炎	80	83	115	79	0.54		
	不明発しん症 (注1)	10	5	4	14	0.10		
MCLS(川崎病) (注1)	1	2	4	0	0.00			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	8,073	7,330	7,119	6,881	24.14	285	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	2	1	0.03	37	39
	流行性角結膜炎	16	14	5	21	0.57		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	1	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	5	3	7	3	0.13		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2	0	1	0	0.00		
2009/11/25集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して少ないが、例年流行する時期であり、今後の動向に注意が必要である。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続して減少した。しかし依然として警報が出ている状況であり、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

中野区保健所管内定点医療機関

- ・流行性耳下腺炎:7歳児患者、無菌性髄膜炎の所見を呈しましたが、入院せずに数日で軽快しました。

江東区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:カンピロバクター陽性。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年47週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3		1	3	2			4		
～11か月	9	4		32	6	2		32		1
1歳	15	7	2	88	12	15		29	1	3
2歳	6	2	2	34	18	6	3	9		
3歳	2	1	7	31	20	6	3			3
4歳			16	35	14	9		1	1	
5歳		2	15	36	20	1	2			1
6歳		1	15	21	9	3	2			
7歳			17	27	2	1	2			1
8歳			9	22	2					
9歳		1	6	14	2					
10～14歳			9	49			1			1
15～19歳			1	13		1				
20～29歳			5	69		1			1	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	35	18	105	474	107	45	13	75	3	11
先週比	20	4	-33	43	14	3	5	1	-2	-4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		10		
～11か月		5		37		
1歳	6	1		134		1
2歳	7			188		1
3歳	8	3		290		1
4歳	19	1		449		1
5歳	12	3		508		
6歳	9			591		
7歳	7			549		
8歳	6			565		
9歳	3			511		
10～14歳				1530		1
15～19歳				551		1
20～29歳	2			364		3
30～39歳				317	1	5
40～49歳				215		3
50～59歳				50		2
60～69歳				13		
70～79歳				7		2
80歳以上				2		
合計	79	14		6881	1	21
先週比	-36	10	-4	-238	-1	16

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年47週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		1
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年47週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田					2			1		
中央区			3	6	1					
みなと	5		3	10	1	3		3		
新宿区	1	1	6	9	2			1		
文京				2	1	1				
台東		4	3	11	1	4	2	4		
墨田区			3	3	2	2	1	4		
江東区			10	12		1		3		1
品川区	1		1	19	4	4	1	10		
目黒区										
大田区	3	1	7	68	6			5	1	1
世田谷	8	1	1	15	4	1				
渋谷区				7	4			2		1
中野区			5	32	4	1		1		
杉並			3	36	4		1	1		
池袋				12				2		
北区			1	7		4		2		
荒川区				1		1		1		
板橋区			2	19						
練馬区			1	7	3	2		4		
足立			2	19	2	2		3	1	1
葛飾区			1	14	1	8	2	2		2
江戸川	5		2	13	4	3	1	1		
八王子市	4	2	25	24	16	2		5		
西多摩				11	3	1		2		
南多摩	3		1	10	2			4		
町田			15	52	31	1	3	3		3
多摩立川				11	2	1			1	
多摩府中			6	5		1	2	2		
多摩小平	5	9	4	39	7	2		9		2
島しょ										
東京都合計	35	18	105	474	107	45	13	75	3	11

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年47週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				24		
中央区				20		1
みなと	3			65		
新宿区	2	2		140		
文京	2			120		2
台東	2			82		
墨田区	3			145		1
江東区	3			166		
品川区				211		
目黒区				57		1
大田区	2			442		3
世田谷		1		347		1
渋谷区	2			80		
中野区	3			148		
杉並				272		
池袋				113		
北区	3			162		
荒川区				57		
板橋区		1		126		1
練馬区	4			287		2
足立	5	1		198	1	4
葛飾区	6			266		
江戸川	5			539		
八王子市	4	4		467		
西多摩	9			386		
南多摩	1			296		
町田	10	4		468		
多摩立川				204		
多摩府中	7	1		513		1
多摩小平	3			467		4
島しょ				13		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		1
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	79	14	-	6,881	1	21
-------	----	----	---	-------	---	----

東京都合計		2
-------	--	---

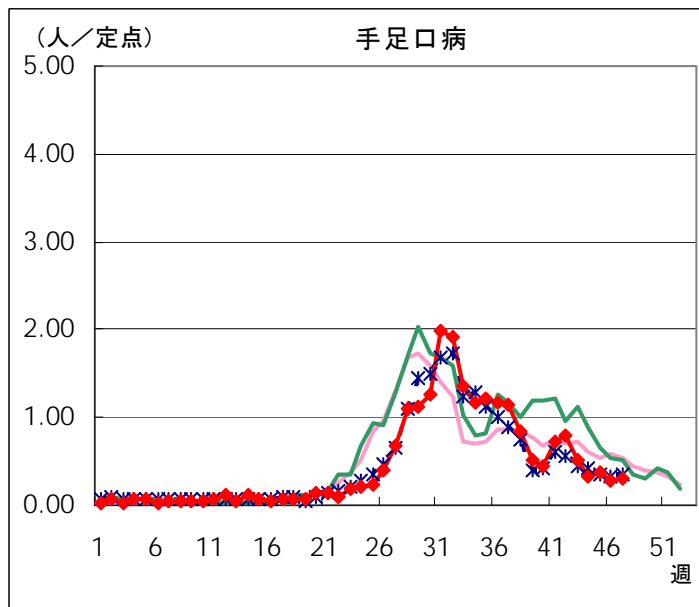
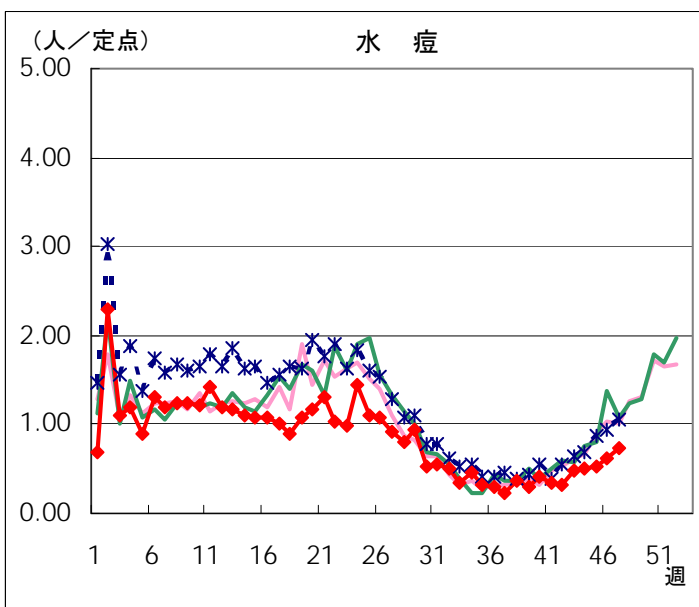
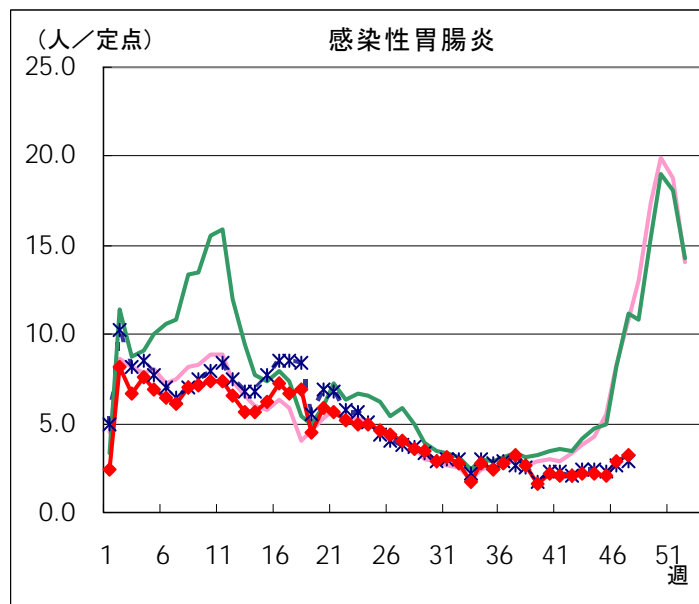
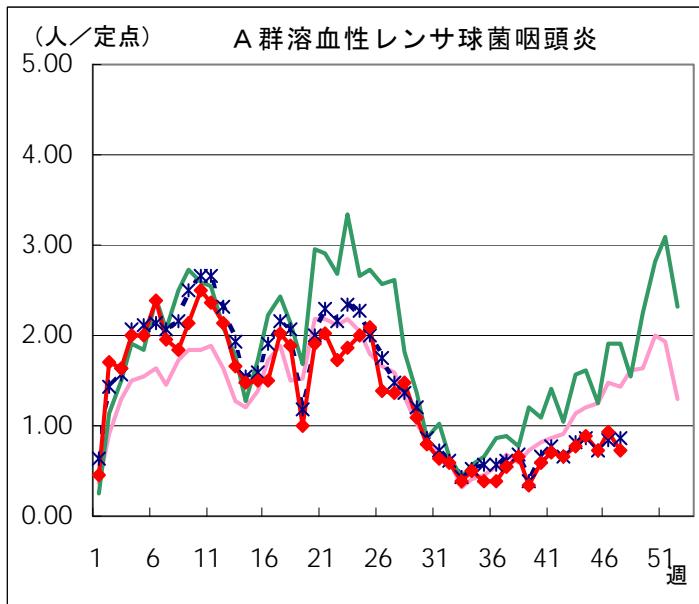
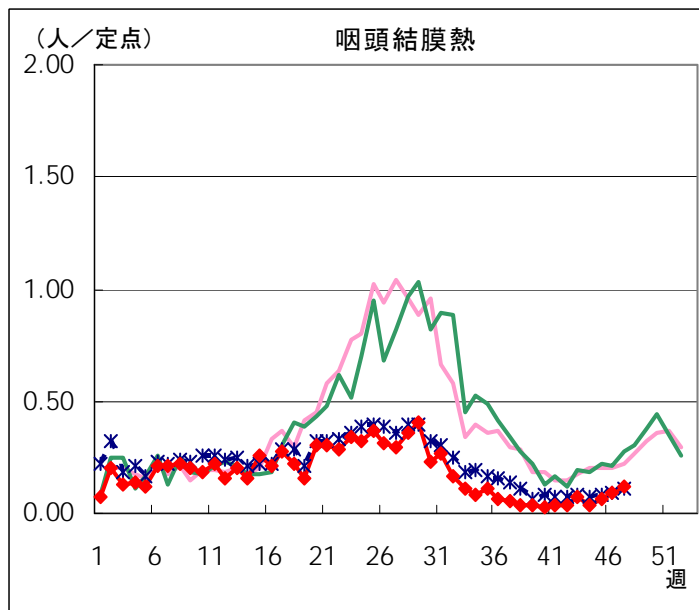
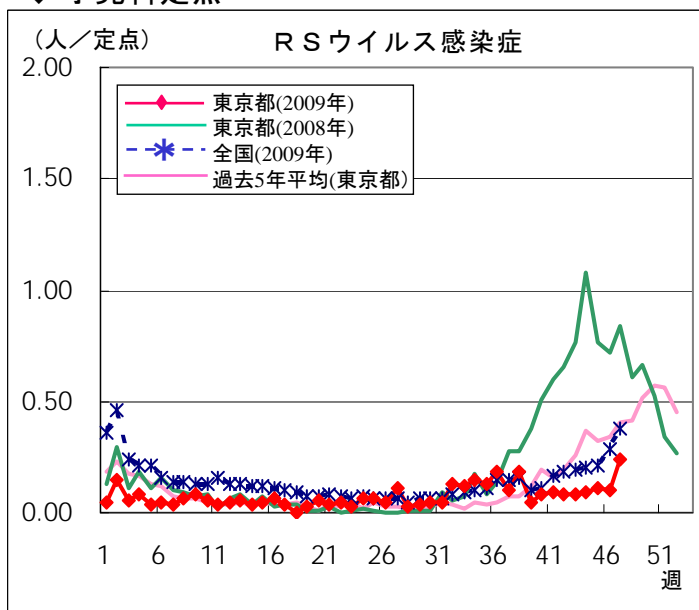
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年47週

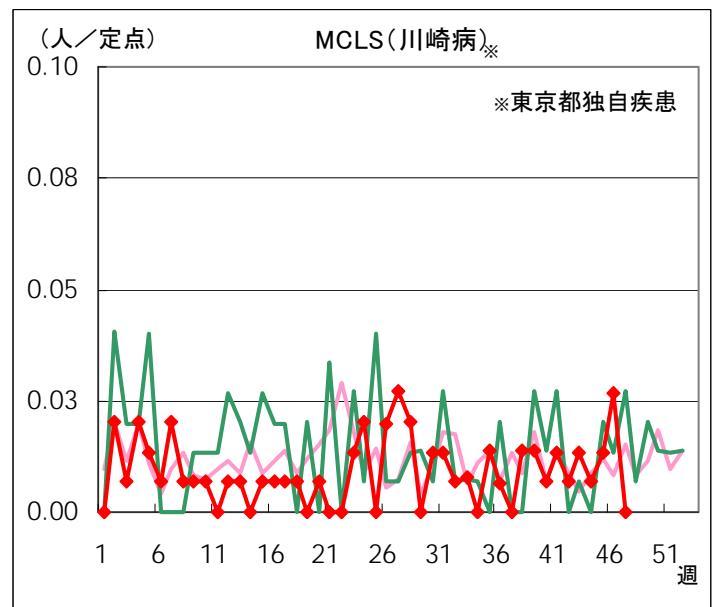
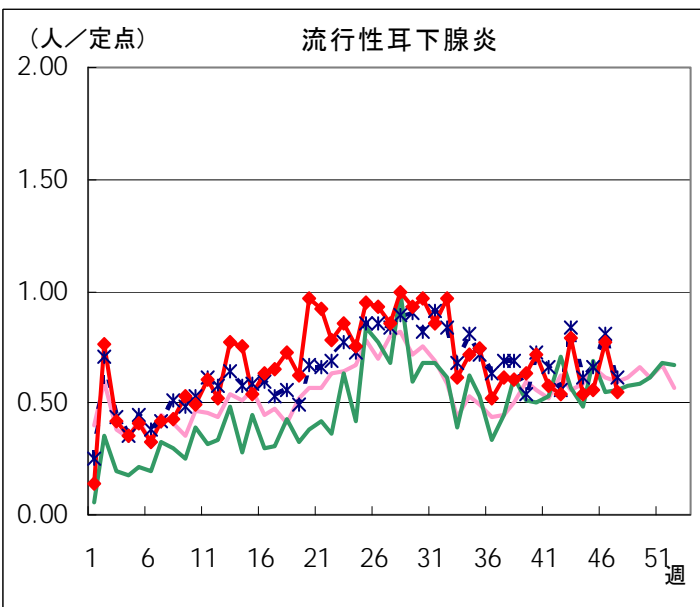
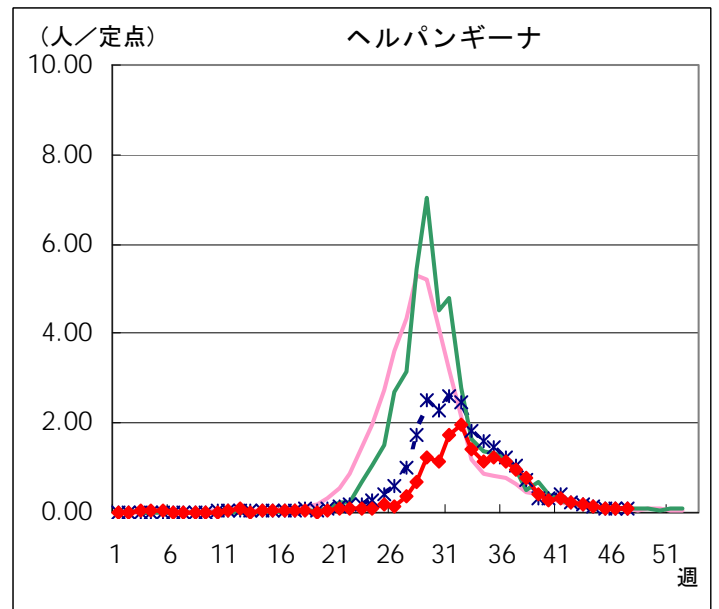
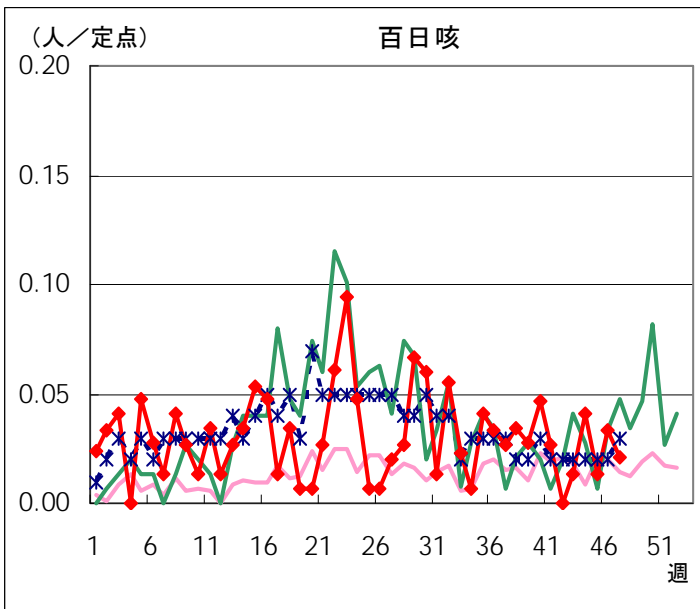
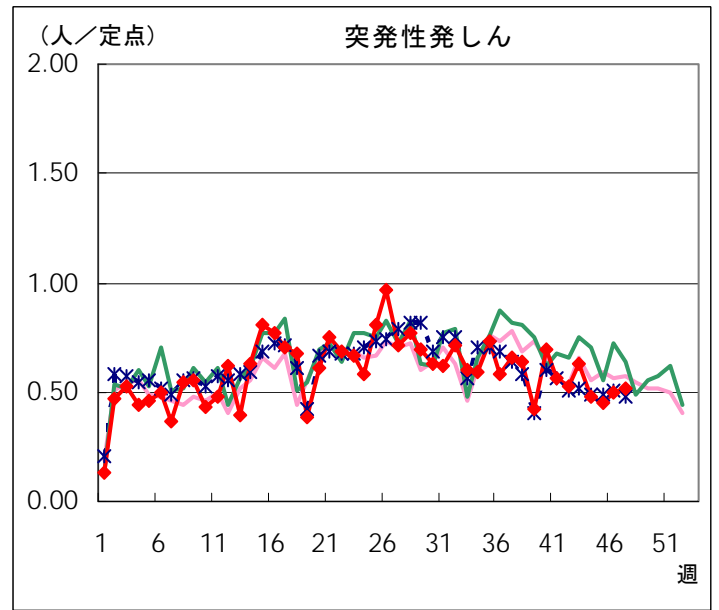
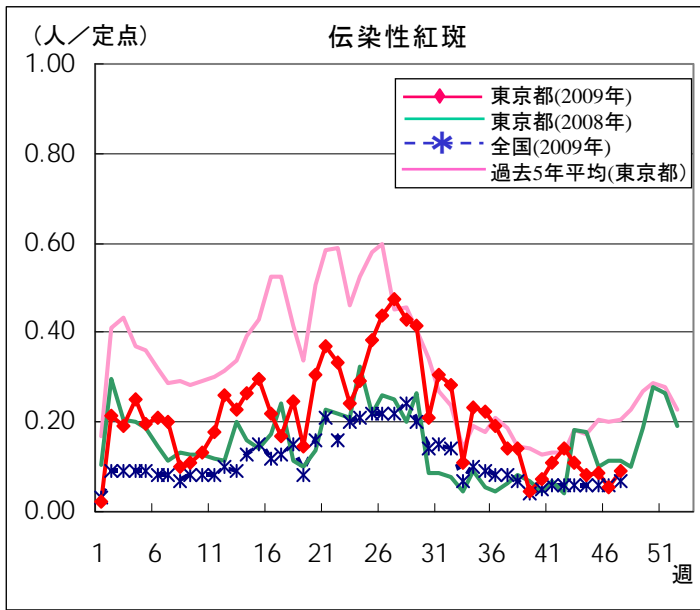
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田					0.67			0.33		
中央区			1.00	2.00	0.33					
みなと	1.00		0.60	2.00	0.20	0.60		0.60		
新宿区	0.17	0.17	1.00	1.50	0.33			0.17		
文京				0.67	0.33	0.33				
台東		1.33	1.00	3.67	0.33	1.33	0.67	1.33		
墨田区			1.00	1.00	0.67	0.67	0.33	1.33		
江東区			2.50	3.00		0.25		0.75		0.25
品川区	0.17		0.17	3.17	0.67	0.67	0.17	1.67		
目黒区										
大田区	0.33	0.11	0.78	7.56	0.67			0.56	0.11	0.11
世田谷	1.00	0.13	0.13	1.88	0.50	0.13				
渋谷区				1.75	1.00			0.50		0.25
中野区			0.83	5.33	0.67	0.17		0.17		
杉並			0.50	6.00	0.67		0.17	0.17		
池袋				3.00				0.50		
北区			0.25	1.75		1.00		0.50		
荒川区				0.50		0.50		0.50		
板橋区			0.33	3.17						
練馬区			0.20	1.40	0.60	0.40		0.80		
足立			0.40	3.80	0.40	0.40		0.60	0.20	0.20
葛飾区			0.25	3.50	0.25	2.00	0.50	0.50		0.50
江戸川	1.00		0.40	2.60	0.80	0.60	0.20	0.20		
八王子市	1.00	0.50	6.25	6.00	4.00	0.50		1.25		
西多摩				2.20	0.60	0.20		0.40		
南多摩	0.75		0.25	2.50	0.50			1.00		
町田			3.75	13.00	7.75	0.25	0.75	0.75		0.75
多摩立川				1.83	0.33	0.17			0.17	
多摩府中			0.75	0.63		0.13	0.25	0.25		
多摩小平	0.83	1.50	0.67	6.50	1.17	0.33		1.50		0.33
島しょ										
東京都	0.24	0.12	0.72	3.27	0.74	0.31	0.09	0.52	0.02	0.08

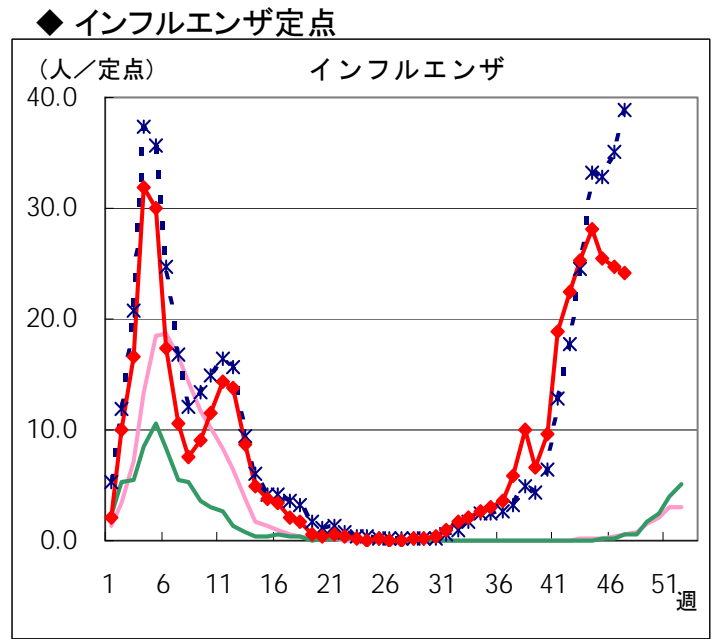
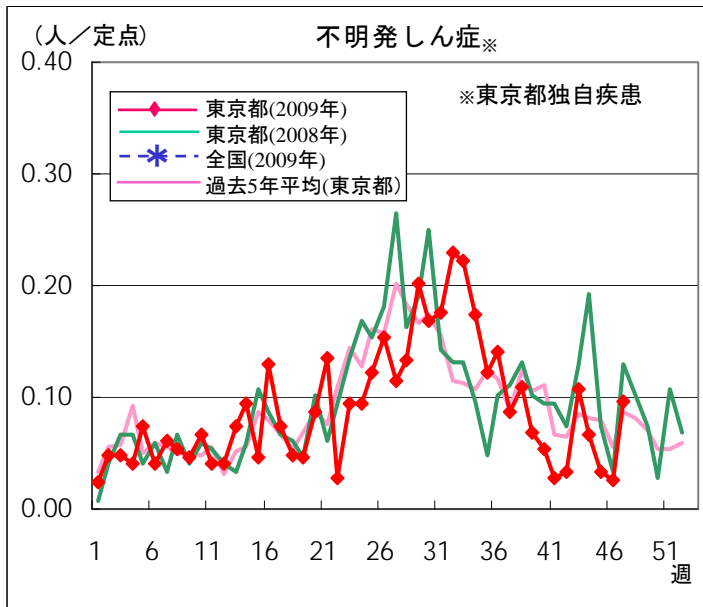
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				6.00		
中央区				5.00		1.00
みなと	0.60			9.29		
新宿区	0.33	0.33		15.56		
文京	0.67			24.00		2.00
台東	0.67			16.40		
墨田区	1.00			24.17		1.00
江東区	0.75			18.44		
品川区				21.10		
目黒区				9.50		1.00
大田区	0.22			27.63		1.50
世田谷		0.13		21.69		0.50
渋谷区	0.50			13.33		
中野区	0.50			16.44		
杉並				22.67		
池袋				16.14		
北区	0.75			20.25		
荒川区				14.25		
板橋区		0.17		10.50		0.50
練馬区	0.80			23.92		1.00
足立	1.00	0.20		16.50	0.50	2.00
葛飾区	1.50			29.56		
江戸川	1.00			44.92		
八王子市	1.00	1.00		46.70		
西多摩	1.80			42.89		
南多摩	0.25			32.89		
町田	2.50	1.00		52.00		
多摩立川				15.69		
多摩府中	0.88	0.13		27.00		0.50
多摩小平	0.50			33.36		2.00
島しょ				6.50		
東京都	0.54	0.10	-	24.14	0.03	0.57

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年47週現在

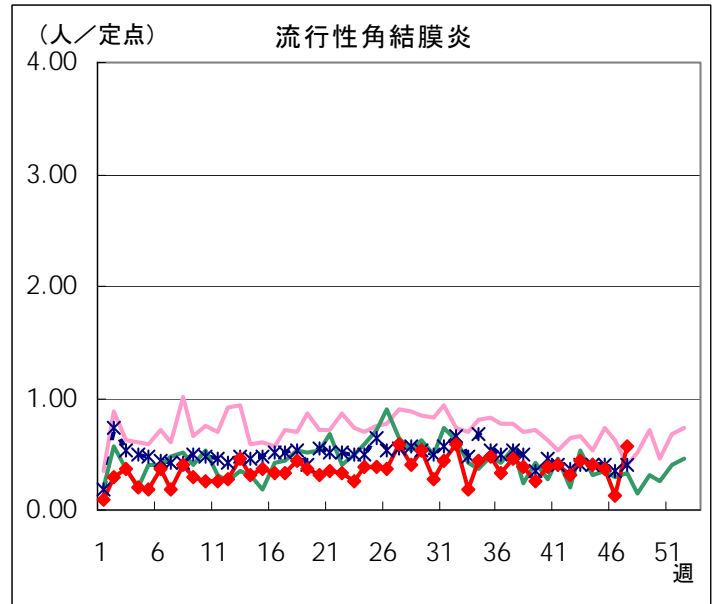
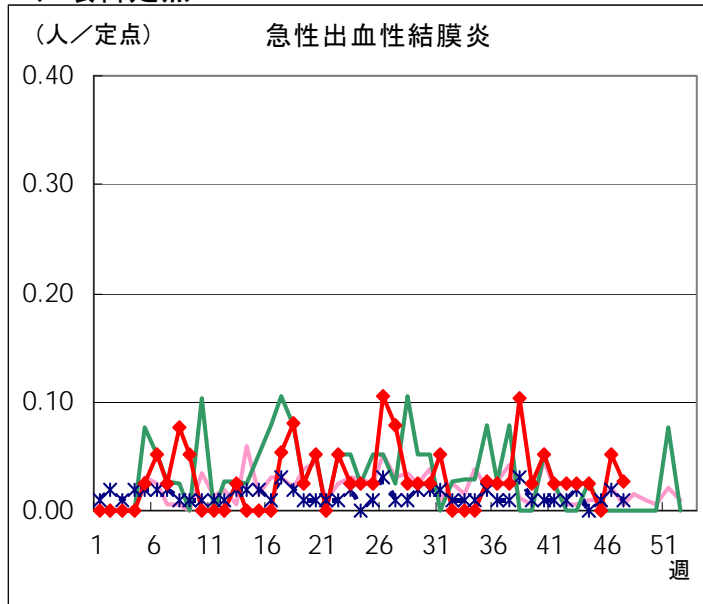
◆ 小児科定点



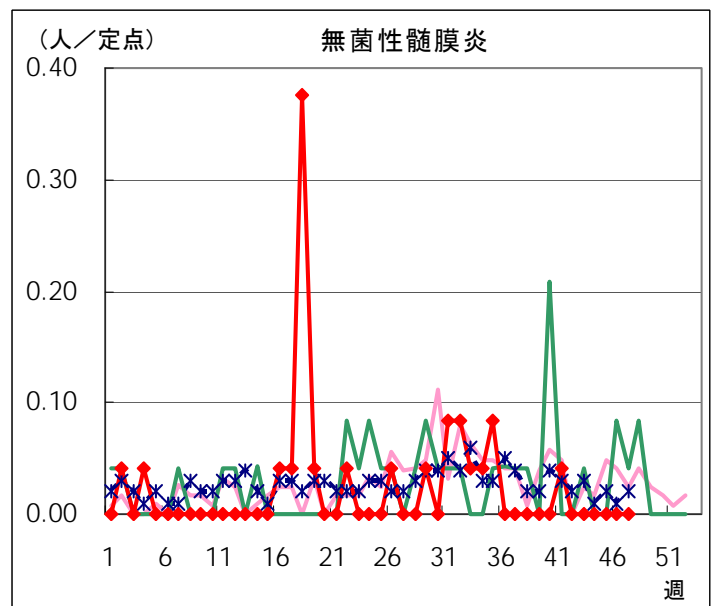
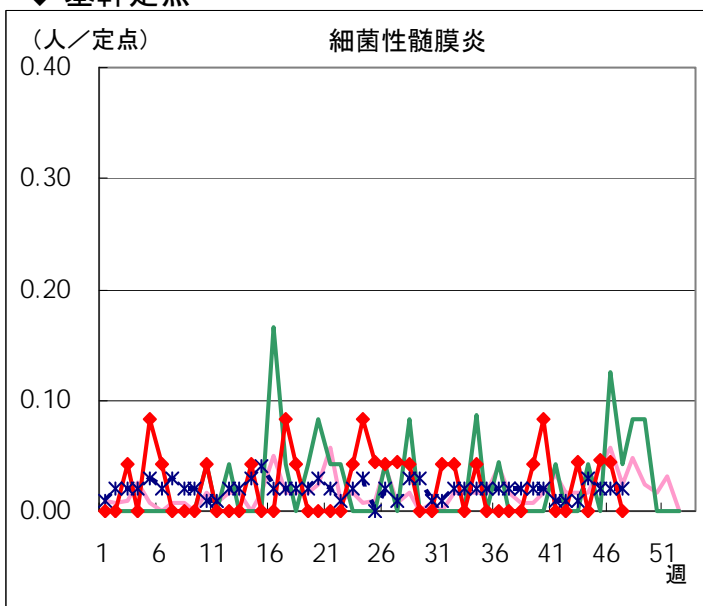


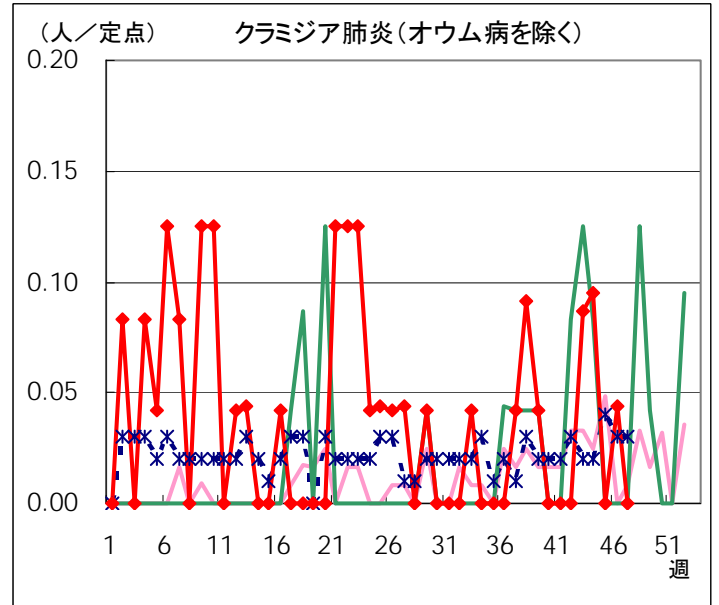
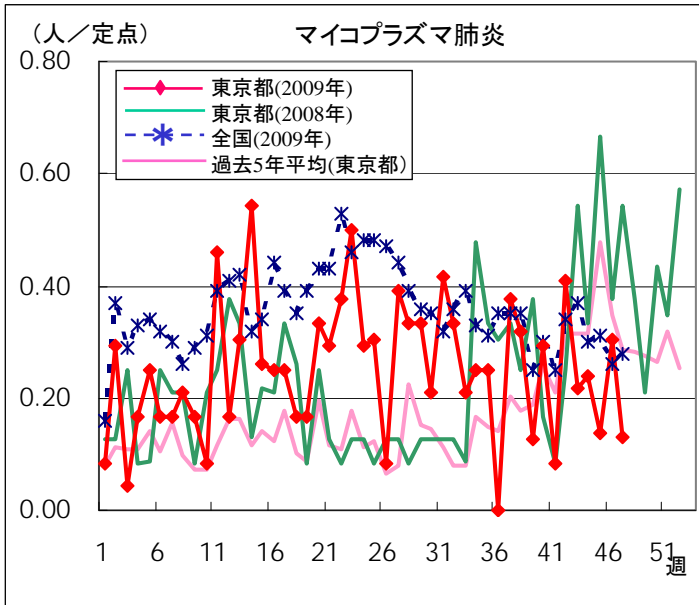


◆ 眼科定点

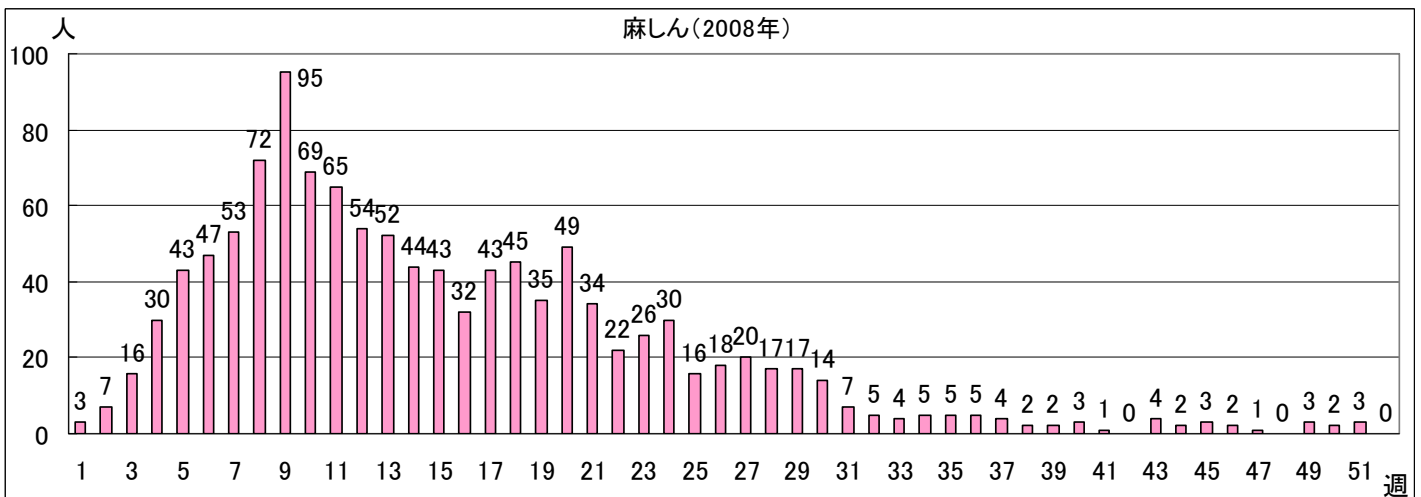
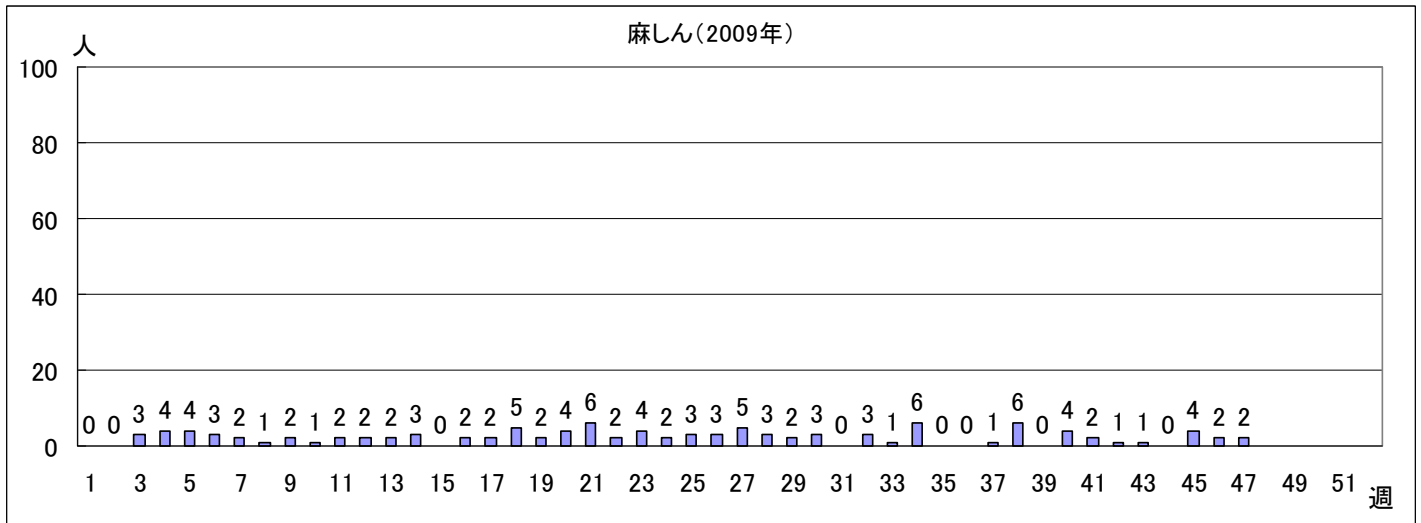


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年47週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	9		
	34		
新宿区	10		
	49		
	11		
江東区	43		
	24		
品川区	9		患者39名。
	10		
目黒区	8		
	32		
	8		
大田区	59		10名は臨床症状・流行状況より診断。
	5		
	6		
	6		
	9		
	15		
中野区	18		2名は臨床症状や状況から判断。
	1		
	45		
	24	1	
	7		
	15		
	6		
	4		
	19		型不明4名。
池袋	12		
	42		
	6		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	34		10名は臨床診断。
			患者14名。発生数が減少し続けています。
	6		
			患者40名。一時、鎮静化の方向に向かうと思われたのですが、再び増加しています。10歳以下が特に増えてきました。
板橋区	36		
西多摩	1		
	131		
多摩立川	6	2	患者14名。
	15		患者27名。
多摩小平	26		
	8		患者10名。
	25	3	
	20		
八王子市	52		20名は臨床診断。
	100		
	11		
	23		
	83		
	148		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/4	インフルエンザ	5M	咽頭拭い液	新型インフルエンザウイルス# アデノウイルス	遺伝子
11/5	喘息性気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	
11/5	脳炎	64	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス	
11/5	無菌性髄膜炎	6	髄液	ムンプスウイルス	
11/9	インフルエンザ、突発性発しん	9M	咽頭拭い液	新型インフルエンザウイルス# ヒトヘルペスウイルス6型 エンテロウイルス	
11/9	気管支喘息	10	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/9	気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/9	RSウイルス感染症	5M	鼻汁	ライノウイルス、RSウイルス	
11/9	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
11/10	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/10	水痘	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
11/10	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	新型インフルエンザウイルス# ライノウイルス	
11/10	インフルエンザ	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/11	手足口病	9M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/12	肺炎	1	鼻汁	RSウイルス	
11/12	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/12	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/13	突発性発しん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
46週	0	0	0	37***
今シーズン累計**	1	0	0	355

* : 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)。
 ** : 新シーズン(2009-2010シーズン)の開始は第36週(8月31日~9月6日)。
 *** : #を含む。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週
ウイルス	アデノウイルス	4	3	3	3	4	3	1	3
	ライノウイルス	5	2	3	3	11	5	3	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	8	3	2	10	2	1	1	4
	単純ヘルペスウイルス							2	1
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	1	3	6	5	2	2	4
	EBウイルス	4			2		2	1	
	サイトメガロウイルス		1	2		1	1		
	ムンプスウイルス	1		3	1		1	1	1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1							
	RSウイルス	6		1		2			4
	ノロウイルス						1	1	
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	31	22	51	36	32	41	17	37	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌					7			
	その他の細菌			1					
その他の病原体		2							

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年39週～2009年46週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	331	28	70	26	37	1		2	1	5	2	12	10			3	132	
ウイルス	アデノウイルス	7	2	10	1					1							3	
	ライノウイルス	10		18	2							3	1				4	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	2	5	3	1	3	1		1	5		1	2			1	6	
	単純ヘルペスウイルス																	3
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7	1				1						7	2					15
	EBウイルス								1			2	3				1	2
	サイトメガロウイルス		1		1							2	1					
	ムンプスウイルス					4								4				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1						
	RSウイルス			13														
	ノロウイルス				2													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	259		6														2	
デングウイルス (抗体を含む)																		
その他のウイルス																		
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		7															
その他の細菌			1															
その他の病原体			2															